

科目名	社会教育演習					単位	2.0
担当教員	丹間 康仁						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	4570

●授業のテーマ

人間の教育と学習の視点から、現代社会の課題解決を図ろうとする社会教育の意義と課題について議論する。

●到達目標

現代社会の抱える多様で複雑な課題に関心を持ち、その解決にあたって教育と学習の視点からアプローチしようとする発想力を身につける。

●学習内容(授業概要)

この演習は、地域づくり、子育て、福祉など、個人の趣味や教養に留まらない社会教育の幅広い事業や実践の可能性について議論することを目的とする。社会教育の歴史、理論、法制の基礎を理解したうえで、社会教育の実践を展開していく方向性について議論する。個人の自助努力では解決しえない課題が複雑にからみあう現代において、社会教育の果たしていくべき役割について理解を深める。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーション

社会において学びを培うことの意味について理解する。

2. 社会教育の歴史と現代的意味

社会教育の概念の系譜と性格、現代的な解釈について理解する。

3. 地域に広がる社会教育施設

社会教育の創設史を踏まえ、社会教育施設の展開史について理解する。

4. 社会教育事業の公共性と私事性

公民館における各種事業の意味を公共性の観点から理解する。

5. 学びを支える社会教育職員

社会教育主事や公民館主事の専門性を学習支援の視点から理解する。

6. 社会教育法の意義と解釈

社会教育法の要点を押さえて、その意義と解釈について理解する。

7. 社会教育行政の現状と課題

自治体における社会教育行政の実態に基づき、全国的な動向を理解する。

8. 社会教育と指定管理者制度

指定管理者制度の現状について、図書館の事例から課題を理解する。

9. 社会教育の歴史・理論・法制(中間まとめ)

社会教育の歴史、理論、法制の基礎についてこれまでの内容を整理する。

10. 生活課題・地域課題の解決と社会教育

地域課題や生活課題の実例を示して、社会教育の果たす役割を議論する。

11. 震災復興における社会教育の役割

社会教育が震災復興の地域づくりに果たしうる役割について議論する。

12. 日常生活に根差した社会教育実践の構想

身近な日常生活において社会教育実践を展開する方策について議論する。

13. 人口減少時代における社会教育の課題

過疎化と高齢化に立ち向かう社会教育の新たな展開について検討する。

14. 自治体行政における社会教育の新展開

これからの自治体に求められる社会教育の未来像について議論する。

15. 社会教育実践の多様な可能性

社会教育実践の可能性について、各自の理解に基づき議論を展開する。

●準備学習・事後学習の内容

人生のなかで、学校以外の場や機会に学ぶことはたくさんある。日常の生活のなかで、人間の教育と学習について考えてみるのが重要である。

たとえば、人が日々どこで何をどのように学んでいるか、あらためて考えてみる。あるいは、身近で起きた出来事を学習や教育の観点から捉え直してみる。

●成績評価方法・基準

期末試験の得点 60%

議論への参加 40%

●テキスト（必携）

特になし

●参考文献／その他

授業プリントや参考資料を配布します。

●履修上の注意

この授業は、社会教育主事養成科目の一つです。将来、都道府県や市町村で地方公務員として働くことを考えている学生の積極的な受講を期待します。